

III 症状ごとの対応

8. やけどをしたとき



やけどは0～4歳児に多く、熱湯によるやけどがもっともおこりやすいものです。

また、使い捨てカイロや、ぬるい湯たんぽでも、長時間あると低温やけどになることがあるので注意が必要です。



家庭での対処方法

まず流水で30分以上冷やす

服を脱がせにくいときは、服のうえから冷水をかけたり、服をハサミではいであけても効果的です。



赤くなくなるまで、また、痛みがなくなるまでとにかく冷やして下さい。

赤いだけで、水疱ができない場合

範囲が狭ければ家で冷やしていれば心配ありません。

水ぶくれができたなら

破らないようにして清潔を保ってください。



+ すぐ受診した方がよいとき

- 肌が黒くこげていたり、白くなっているとき。
- やけどの範囲が大人の手のひらより広いとき。



! 注意すること

- ! 油やアロエを塗るなど、民間療法をしないでください。

